

事業所名

チャイルドハート東海とよた

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

31 日

法人（事業所）理念		一人ひとりに寄り添った支援を通じて子どもと社会を繋ぐ架け橋となります。子どもたちには、それぞれ星のような輝きがあります。私たちは、その輝く個性を大切にしながら一人ひとりに寄り添った支援をします。日々の活動や遊びを通じて、多くの経験と学びを得て将来の自立に向け必要な力を育てます。また、子どもたちが楽しく通い保護者様が安心できるような笑顔が溢れる事業所を目指します。					
支援方針		①個別のニーズに対応 ②総合的な発達の促進 ③安全安心な環境提供 ④自己肯定感と自己表現の促進 ⑤自己決定と自己表現の支援 ⑥円滑なコミュニケーション ⑦地域連携と社会参加の促進					
営業時間(1)		10 時	0 分	19 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
営業時間(2)		9 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①入室時の手洗い・持ち物の収納・消毒・検温等をルーティン化できるように順番によって提示 ②衛生管理としてハンカチ携帯を習慣化 ③使ったら片付けるを習慣化（玩具は片付けてから次の玩具を出す） ④ごみ分別によって資源の大切さを学ぶ ⑤外食体験・おやつ作り・昼食作りにより食に関する学習					
	運動・感覚	①粗大運動：公園や学校運動場や体育館を使用してドッチボールやバスケットボール ②微細運動：室内軽運動・サーキット運動・バランスボール等 ③ビジョントレーニング：宝探しゲーム・数字探しゲームなど遊びの中から眼球トレーニング ④音楽鑑賞会 ⑤タブレットを使用したダンス ⑥楽器演奏 ⑦工作：手先の訓練					
	認知・行動	①ホワイトボードに日付を記入し、数字や曜日の確認 ②時計を見る習慣をつけ、時間で切り替え ③コグトレ・ブロック等の玩具を使い空間認知 ④五感を使った遊び（色の組み合わせ・なんの音？・触感でものをあてる・ヒントの絵や言葉を聞き季節をあてる） ⑤季節感を味わう行事への参加					
	言語 コミュニケーション	①活動開始前に職員の説明を聞き質疑応答、最後まで聞く力をつける ②個に応じて、カードを提示したり、厳選した短い言葉で伝える ③グループディスカッション ④1日の振り返り（口頭で自分や他者の良い所を見つける） ⑤個別での学習補助 ⑥自己紹介 ⑦爆弾ゲーム等の遊びの中に言語での発表場面を設ける					
	人間関係 社会性	①遊びを通じてルールを理解する・ごっこ遊び ②個人→2～3名の小集団→10名程度の集団と段階的に集団参加 ③グループ行動（上級生と下級生のペアリング） ④役割分担 ⑤事業所内お店屋さん体験 ⑥公共交通機関での移動（ヘルプを出せるように困った場面を設定した活動） ⑦買い物体験 ⑧就労に向けた作業的訓練 ⑨社会見学（工場見学）					
家族支援		写真を掲載したお子様の様子を毎日配信 心配・悩み事が生じた場合に気軽に相談できる環境を整えています 家族参加型の大型イベント（BBQ、ボウリングやマレットゴルフ大会）の開催				移行支援	進学先への情報提供・共有 進学や就労に向けての訓練や課題提供 生活介護事業所や就労作業所の見学
地域支援・地域連携		地域の他事業所と連携し、お子様の状況について共有しています 成長度合いによって移行連携をとっています 豊田市放課後等デイサービス連絡会への参加 シルバー会の方とマレットゴルフ交流				職員の質の向上	毎日14時からの情報共有で、活動内容とお子様の状況を把握 チャイルド本部研修参加 事業所内各種勉強会・他児業所見学
主な行事等		季節行事イベント（クリスマス会・ハロウィン・プール） BCPを想定した災害時訓練（非常食を食べたり、真っ暗な中で過ごす等の場を設定） 避難訓練（第一避難所までの経路確認と”お・は・し・も”の確認等） 外出イベント（動植物園・水族館・科学館等） 夏休みの昼食作り週間 長期休暇は午前中は学習タイムにしています（連休明けにスムーズに対応できる） 実習イベント（おやつ作り・昼食作り等）					